

「2026年度 町田市小学生・中学生フォーラム」の実施報告について

1 概要報告

1 目的

町田市内の小学校・中学校から児童・生徒の代表者が集い、各学校の課題解決や目標実現に向けた取組等について交流することを通して、今後の各学校における自主的な取組の活性化を図るとともに、各自の主体性や協調性等の育成を図る。

2 概要

- 2022年度から開始し、5回目の実施となる。
- 2025年度から小学生も参加しての実施となる。
(学校数が多いため12校ずつ、毎年入れ替えて実施)
- 事前に町田市立小・中学校に調査し、テーマを「学年・立場をこえた『つながり』について」と決定し、実施した。
- 町田市立小・中学校各校2名の代表児童・生徒が集い、会の進行や話し合いを主体的に進めた。
- 各学校で行っている「異学年や先生、地域の人などとのつながりについて」取り組んでいることを共有し、「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」を協議し、今後取り組んでみたいことを具体的に考えた。

3 実施日時・会場

2026年7月17日(金) 午後2時から午後4時まで
町田第一小学校 体育館

4 会の流れ

- (1) 開会式
- (2) 各学校で行っている「学年・立場をこえた『つながり』について」取り組んでいることを共有する。
- (3) 「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」を協議し、今後取り組んでみたいことを具体的に考え、発表する。
- (4) 振り返り
- (5) 閉会式

2 資料

(1) 活動の様子



(2) 各学校で行っている「みんなが行きたいと思う学校にするために」の取組

各学校でスライドにまとめ、グループに分かれてそれぞれの取組を伝え合いました。

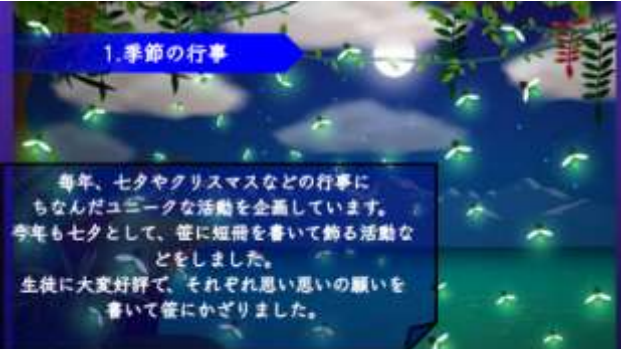
※スペースの関係上、複数枚あるスライド資料の内、一部のみを掲載しています。

【小学校】

町田第一小学校 町一小には「いっしょ班」という活動があります。全学年が入っている班で月に一回遊びます。6年生がリーダーとして遊びを考えます。1月からは5年生がバトンタッチをして遊びを考えます。 担当の先生が必ず知っている先生になるには限らないので、いろいろな先生と関わりがもてるので嬉しいです。 	藤の台小学校 ・藤小祭りについて 僕達の藤の台小学校には様々な他学年との関わり方があります。 
南第四小学校 3.たてわりそうじ (10月より実施予定)  たてわりそうじを実施するために、まずは6年生が手本となってそうじしています	つくし野小学校 6年生から5年生へ日光のスライド発表 5年生から4年生へスキー教室のスライド発表 1年生と2年生で学校探検 
成瀬台小学校 地域とのつながり「総合的な学習の時間」を通して ★小刀体験、七輪体験、茶道体験など (地域の方々がゲストティーチャー) ★尾根道探検(成瀬の自然を守る会)との交流 ★地域のお年寄りとおふれ合おう「地域交流会」 ★地域をよりよくしよう(これから取り組んでいく) ★地域ボランティアの皆さんへの感謝を伝える 「感謝状贈呈式」	高ヶ坂小学校 地域の方たちとの関わり 高ヶ坂小学校では3年生は地域の方と協力して大根を作っています また、2年生は町探検で色々なお店でどんな仕事をしているか調べたり、仕事の大変さや、地域との関わりはどんな関係があるのか →地域の方の話を聞いている様子 
金井小学校 4年生のインタビュー 関わり 「4年生のインタビュー」では先生との交流できる機会がありました。「いろいろな先生の昔の夢や昔の好きな事をしれて良かった、先生の好きな事は意外だったり想像通りだった。」などの声が上がりました。また、意外な一面や普段から想像できないところを知ったことが嬉しかったそうです。 	大蔵小学校 ②異学年や先生、地域の人とつながるための工夫 と ③具体的な取組 【地域】 まちとも(放課後)・ホテル復活プロジェクト 【先生】 あいさつ・感謝を伝える ONESCO会講(代表委員会) 今年6月9日に親子合同の華なしりをします。ですが、そのことについてまだ知らない人が多いので、6月8日のいつかに参観をして伝えたいです。 

木曽境川小学校 ■さんの野菜   3年生の社会の授業で、学校の近くに住む農家の■さんの畑に行きます。また、給食では、■さんの育てた野菜が入っていることもあります。 例としてブロッコリー、ほうれん草なども■さんが、育ててくれて、給食で食べることができます。 	図師小学校 図師小学校では、ずしっ子祭りという文化祭のような活動を毎年やっています。3~6年生が3週間前から、お店の準備をしてお店を出しています。1~2年生は他のお店で楽しく遊んでいます。卒業生や保護者、転任された先生なども見に来ています。  
小山小学校 今のスクールサミットでは...より良い小山小を子どもたちで作っていくために各委員会の委員長(専門的な仕事をする)と、代表委員(クラスの代表)で集まって話しあっています。その中心として話し合っているのがあいさつと交流です。  	小山ヶ丘小学校 幼稚園交流 私達が5年生のときに、近くの幼稚園といっしょに遊びました。演劇や屋台を出したりして幼稚園生と一緒に遊びました。屋台の呼びかけなどで幼稚園生とたくさん話すことができました。私達の劇をみて笑ってくれた子がいてとても嬉しかったです。

【中学校】

町田第一中学校 1.季節の行事 毎年、七夕やクリスマスなどの行事にちなんでユニークな活動を企画しています。今年も七夕として、笹に短冊を書いて飾る活動などをしました。生徒に大変好評で、それぞれ思い思いの願いを書いて笹にかざりました。 	町田第二中学校 オリジナルTシャツとは... 
町田第三中学校 地域清掃の実施 ■地域清掃とは 毎年生徒会が中心となり生徒の中から参加者を募集し行っている行事の一つ。 地域の方と学校の周りを清掃することで、お世話になっている地域や地域の方々に日頃の感謝を伝える機会となっている。 	南大谷中学校 クラスを超えたつながり 屋上開放  学年の仲を深める

南中学校 老人ホーム合掌苑との交流会 〈詳細〉 生徒会や有志の生徒と一緒に近くの合掌苑に訪問し、合掌苑の方とゲームなどを行い交流します。 12月25日 ゲームの内容: ・爆弾ゲーム ・ジェスチャーゲーム ・クイズ ・音遊び など 	つくし野中学校 スクールカジュアルデーとは →数日間私服で学校に登校することができる取り組み 【目的】 ・自ら生徒がTPOについて考えられるようにする ・互いの個性を知る 後日振り返りをする事で、次回の実施に向けて改善！
成瀬台中学校  異学年との交流活動 1. 体育祭での団幕制作	南成瀬中学校 ボランティア ・成瀬まつりの店の運営 ・つくしのハロウィン ・子ども食堂のお手伝い - など 地域貢献係もボランティアに参加できます。 
鶴川中学校 見て観て鶴中 見て観て鶴中(通称見て鶴)は鶴中生以外の地域の方でも参加でき、主に文化部が中心となつて行う文化祭のようなものです。毎年各部活が盛り上がっています！ 	鶴川第二中学校 1. 小学校訪問 ■小学6年生に向けて中学校生活を紹介しました！ 毎年、本校に入学してくる小学6年生に向けて各委員会、部活動の活動や学校行事、クラスでの係の仕事など中学校生活についてを、スライドやしおりを活用し、紹介しています。直接説明することで、実際の反応やその場で出た質問に対して答えることができ、安心して新入生を迎えることが出来ています。 
薬師中学校 薬師中の取り組み ・ほのぼのタイム ・ボランティア清掃 ・親子まつり  	真光寺中学校 謎解き大会「真中ミステリートーナメント」 学年・立場をこえた「つながり」を作るために ↓真光寺中学校では、 全学年混合のチームで協力して謎を解く「真中ミステリートーナメント」を開催！ 【開催にあたっての課題】 ・授業時間を貰えるかわからない、 ・どうやってチームを分けるのか？ など、 ↓ 様々な課題があるため、そもそも先生たちから許可が降りないかもしれない、  

金井中学校

金井まつり



忠生中学校

学年・立場をこえた『つながり』

ピンクシャツデー



あいさつBINGO

山崎中学校

生徒会種目について

生徒会が企画する体育祭の種目です。生徒会種目のメリットは**学年をこえて学校全員で取り組める**ことです。今年の体育祭の生徒会種目は、全校生徒を6チームに分けてトーナメント形式で綱引きを行いました。

木曽中学校

「地域との交流、ボランティア活動」

JRC部（ボランティア部）

・東日本大震災の被災地福島県への復興プロジェクト。5年前から木曽中東門横で、ひまわりの苗植えから水やり、種の収穫まで地域の方々と生徒が活動しています。



吹奏楽部

・各地の老人ホームやデイサービスにて訪問演奏を行ったり、定期演奏会などを開いています。



小山田中学校

地域との関わり[ゆめいく]

地域の遊び場であるゆめいくの**防災訓練**に生徒会で参加しました。

防災訓練では段ボールベッドや災害時の怪我の対処法など役立つことを教えてもらい、非常食を食べました。



小山中学校

OCP（Oyama Clean Project）

通学路や地域を清掃する活動で、三方向に分かれて実施します。小山中独自の『意見ボックス』を利用して募集をしています。



◎意見ボックスとは...意見を集める投票箱。通称「イケボくん」。

意見用紙に書いて投票。



堺中学校

あいさつ運動

目的→あいさつのあふれる学校にするため

活動内容→月一朝8時～8時15分

変化内容→あいさつビンゴ
他委員会の協力

結果→あいさつは一時的に多くなる
だが意欲的ではなく、
義務的になってしまっている



武蔵岡中学校

生徒会での活動

生徒会では、小中交流給食やあいさつモンスター、標語募集などを実施しています。
・小中交流給食では、中学生と小学生との仲をもっと良くするために、小学生と中学生混合で、給食を一緒に食べています。

・あいさつモンスターは、先生方や生徒会、児童会がシールを持っていて、元気に挨拶をしてくれた人にシールを配っています。**小学1年生から中学3年生まで積極的に参加してくれています。**



(3) 異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法の協議・発表

今年度から、小学生と中学生が同じグループとなり、話し合いました。話し合ったことを以下のスライドにまとめて、代表者が発表しました。小学生と中学生の代表者2名で発表しているグループもありました。

Aグループ 「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」
具体的な取組 小学校 クラブ活動→4～6年生が集まり遊ぶ場。 1年生を迎える会・6年生を送る会 行事の際に着るオリジナルTシャツ 全学年で行く遠足 学校主催のまつり 中学校 体育祭のクラスTシャツ作成 清掃ボランティア 体験入学
取組による効果 クラブ活動…他学年と交流する場がなかなかないので、クラブ活動をきっかけに仲良くなる ことが多い。 遠足…6年生がリードして行い、他学年との交流につながる。 まつり…出し物を考え、地域の人を招き、交流することができる。 体験入学…中学校のルール説明

Bグループ 「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」	
具体的な取組 異学年との交流 ①体育祭、運動会で クラブ、部活動対抗リ レーを種目に追加する。 ②合唱コンクールの前に、縦割り練習を行 う(中学校) ③運動会・体育祭での 応援団を結成する	地域の人との交流 ④地域清掃を実施する 清掃する地域の自治会の方などと協力をして 清掃を行う。
取組による効果 ①部活動やクラブが一緒に異学年の人と ④地域の方々と関わって、 日々の感謝を 関わり、仲が深まる 伝える ことができたり、学校の周りが ②異学年の人と関わって、アドバイスな きれいな きれいな きれいな きれいな きれいな きれいな きれいな きれいな きれいな きれいな どをし合える てもらえる。 ③関わりのなかった異学年の人と関われる	

Cグループ 「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」	
具体的な取組 ①給食に地域の農家さんの野菜を取り入れる。農家さんとの交流。 ②合唱祭での縦割り練習 ③屋上解放や体育館での企画→普段とは違った休み時間＋他学年交流 ④挨拶モンスター→挨拶を企画のように楽しく ⑤挨拶運動→他学年の下駄箱に立つ 参加者を集める ⑥保護者や地域の方の読み聞かせをもっと活発に ⑦小中学校や幼稚園小→学校の見学 ①農家の人にインタビューに行く(生徒会や代表生徒) →ポスターや放送で生徒に伝える 農家さんの学校に来てもらう ②地域の清掃活動(挨拶をする)	取組による効果 ①地域を知るきっかけになる。 農家さんに実際のお話を聞く ②部活や委員会などで先輩、後輩での関わりが少ない生徒も他学年との関わりを持てるチャンスになる 学年を超えて行事に対する気持ちを統一してできる 縦割り→企画 縦割り 全員でできる 企画 自由参加のため、気持ちが高まった生徒が集まり、より企画が盛り上がる ⑦地域の方と挨拶を通して、つながりを持つ 生徒会の活動をしってもらえる

Dグループ

「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」

具体的な取組

花壇ボランティア→クラスルームなどに応募フォームを設置して参加者を募集し、
いろいろな花を植えて学校を彩っています

児童館ボランティア→地域の児童館に行きそこで、防災ボランティアをお行いま
す。それによる効果は子どもと大人 の交流ができた、地域の 子供達に
楽しく防災を伝えることができます

オリジナルTシャツ→先生方に向けてオリジナルのTシャツを作るのですが、そのT
シャツのデザインから作成まですべて生徒が手書きで行いま す

幼稚園交流→近くの幼稚園と交流会をし、大きなかぶの劇やなぞとき、新聞島、ぬりえ
を出したりした

それによる効果

具体的な取組

花壇ボランティア→普段あまり話さない異学年の生徒の交流も増えます。

児童館ボランティア→それによる効果は子どもと大人 の交流ができた、地域の
子供達に楽しく防災を伝えることができます

オリジナルTシャツ→先生との絆をより深めることができました。

幼稚園交流→幼稚園での体験を学ぶことができました。

Eグループ

「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」

具体的な取組

- ・人数が集まらない→企画の頻度を減らす、ポスター制作、新入生へ事前に紹介、表彰
やポイント制
- ・他学年との交流→過去のイベントの復刻、縦割り班をランダムに
- ・地域の人との交流→吹奏楽部が色々な場所に行きコンサート、地域のお祭の手伝い

取組による効果

- ・表彰やポイント制→特別な要素を取り入れることで、皆の遊び心をくすぐる
- ・縦割り班をランダムに→一部ではなく、様々な人と交流し、仲を深められる
- ・コンサート→地域の方々の心を明るく

Fグループ

「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」

具体的な取組

- ・たてわり班活動…異学年と交流し遊ぶ会
- ・意見ボックス(デジタル)…どの立場でも、意見を出しやすくなる。
- ・校則検討…委員会に入っていない生徒でも、意見を出して校則を変えることができる
- ・フェスタ、親子まつり…学校を中心に地域と関わる会。
- ・ほのぼのタイム…ランダムにグループを組んで謎解きなどで関わる。
- ・連合運動会・連合音楽会

(発案)小中学校のつながり、イベントを作る。

・中学校訪問

取組による効果

学校や地域の方を中心に関わっている。

縦割り班活動により、他学年との交流ができる。

ほのぼのタイムはランダムにグループを編成するため、仲良くなれる。

地域の小中でつながって遊んだりして地域と関わる。→中学生と小学生で遊ぶ。|

Gグループ

「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」

具体的な取組

- ・あいさつ運動を学校外(正門の付近等)を行う。
 - ポスター、チラシを配る
 - 事例を書く(ポスターなどに)
- ・やって楽しいなどの工夫
 - ・ビンゴ→学校外(地域)
- ・謎解きイベント
 - 出席番号で決める
 - メリット(話し合わなければならない→交流できる)
 - デメリット(話すのが苦手な人)
 - あだ名などの名札をつけておく

取組による効果

- ・異学年や先生、地域の人などとのつながりを深まる
- ・学校全体での、異学年との交流に対する意識・理解の変化

Hグループ

「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」

具体的な取組

- | | | |
|-----------------|------------|--------------|
| ・挨拶ビンゴ | ・町探検 | ・談話室 |
| ・挨拶の花 | ・意見箱 | ・エコキャップ |
| ・中休みに外に行くためにクイズ | ・ラジオ放送 | ・ホテル復活プロジェクト |
| ・縦割り班 | ・インタビュー放送 | ・委員長会議 |
| ・なんなるフェスタ | ・交流する会 | ・ありがとう習慣 |
| ・部活動対抗リレー | ・なんでもグランプリ | |
| ・ピンクシャツデー | ・異性アンケート | |
| ・ボランティア | ・体育館解放 | |

取組による効果

他学年・先生・地域の方々と関われる、いじめに対する反対運動、いじめに対して理解する、挨拶によって話しかけやすくなった。お店の人の話で地域に対する理解が深まった。

Iグループ

「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」

具体的な取組

「地域」
 地域清掃
 For youプロジェクト
 合掌苑交流会(老人ホーム)
 「他学年」
 たてわり活動(体育祭でも)
 目安箱
 部活動対抗リレー
 ひるみな(生徒会主催の企画昼放送)
 季節の行事

取組による効果

- ・地域と協力して学校周辺を清掃することで交流や生徒間の仲が深まる。
- ・目安箱によって生徒の主観的な意見を学校運営に反映させる。
- ・たてわり活動で異学年と遊びを通して仲良くなる。
- ・体育祭の種目でも異学年交流要素をいれる。
- ・部活同士のガチレースやパフォーマンスなど部門を分けて違う楽しさを味わえる。
- ・みんなが聞く放送を使うことで全員で楽しめる。
- ・様々な季節の行事を行うことで一年中飽きない様々な交流を企画できる。
- ・地域の交流への第一歩として児童生徒の保護者を対象としたイベントを積極的に行う。

Jグループ 「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」
具体的な取組 <u>1.親、卒業生、離任された先生参加の競技作成</u> 知らない人と合い、仲良くなる機会を作る <u>2.先生×生徒の取り組みや、先生紹介ポスター</u> 先生と仲良くなったり、好きなもの、好きなゲームなどを知ったりできる
取組による効果 1.楽しみながら地域の関わりが増える 2.先生と話すきっかけになる、交流が増える 先生と仲良く慣れるようになり学校生活が楽しくなりモチベーションが上がる

Kグループ 「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」
具体的な取組 ・全校生徒参加の学校全体を使った遊び企画(ミニ文化祭) ↳ 中学校生徒・教員だけでなく、周辺の小学生や地域の方も参加できるようにする 学校全体を範囲としたゲームを行い、生徒以外の人たちとも交流を深める ・部活対抗リレー
取組による効果 ・小・中学校、地域の人と交流する⇒交流ができる。楽しんでゲームすることができる。 ・地域の人に自分の部活を紹介する⇒地域の人との交流ができる。自分の部活をアピールできる。 ・他学年の先生方とも交流を

Lグループ 「異学年や先生、地域の人などとのつながりを深める方法」
具体的な取組 異学年:部活動、 部活動対抗リレー 、部活動紹介、季節のイベント(七夕、クリスマス) ↳ 体育祭 先生: テスト前の個別指導 、週目標、巡回 ↳ 授業の理解 地域: 〇〇について教わる(部活動、合唱、発表) 、個別指導、まちとも、部活動 ↳ 詳しい人・専門家
取組による効果 例:部活動を先輩や地域の方に教えてもらう→やれることが増える 先生方や地域の方に個別指導していただく→自分のわからないところがわかるようになる

(4) 参加生徒へのアンケート結果

①実施期間 2026年7月17日(金)

②回答数 57件(参加者60名、回答率95%)

③アンケート結果1：選択項目

設問	とても そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない
各学校の取組を紹介してもらいましたが、各学校の取組は参考になりましたか。	91.2% (52件)	8.8% (5件)	—	—
「みんなが行きたいと思う学校にするために」について、主体的に考えることができましたか。	71.9% (41件)	26.3% (15件)	1.8% (1件)	—
話し合いの時に、自分の意見を伝えることができましたか。	63.2% (36件)	36.8% (21件)	—	—

④アンケート結果2：自由回答・自由記述（一部抜粋）

◆小学生・中学生フォーラムに参加してよかったことは何ですか。

<他校の取組を自校の改善や活動に活かしたい>

- ・自分の学校ではやっていない取組を他の学校がやっていて、自分の学校でも取り入れたいと思ったことがたくさんあった。
- ・各学校の取組を参考にし、自分の学校に生かせると思う。また、様々な活動を参考にしたスライドについてグループで話し合っ発表し、さらに学校の取組についてもっと考えが出た。
- ・自分の学校にも活かせるような他の学校の取組を知れたこと。
- ・小学校だけでなく中学校の企画を知り、共通しているものはなにか、他の学校の企画をどうやって自分の学校に取り入れるかを考えることができた。

<新たな視点や斬新なアイデアを得られた>

- ・今までにない視点から、学校づくりについて考えることができた。たとえば、あいさつ運動といっても、ただ校門にはりついて挨拶をするのではなく、ビンゴを作り、生徒が楽しめる工夫をしているのが素晴らしいと思った。
- ・自分達の学校の中だけで考えたら解決できなかったことでも様々な学校の取組を見たことで「そうすればよかったのか!」と思うようなアイデアがたくさんあり、より良い学校生活を作るための案をたくさんもらえた。また、普段小学生や他校の中学生と話さないでそういった人たちとたくさん話せた。
- ・全校生徒が行きたいと思える学校にするためのヒントを得た。

<他校との交流・意見交換ができた>

- ・あまり触れ合えない他校の生徒と交流できたことや、小学生にしか思いつかない面白いアイデアを聞いたこと。
- ・各学校のイベントややってることをよく知れてグループのみんなとも仲良くなれた。
- ・自分たちの学校で実際に行っている活動だけでなく、困っていることも共有して一緒に考えられた。

<自校の課題や魅力を再発見した>

- ・自分たちの活動に興味や良いという意見をもらえて自信につながった。活動の必要性に意見がもらえた。
- ・他の学校の取組を聞いて、うちの学校にも課題があるんだなということがわかりました。

◆来年度、町田市小学生・中学生フォーラムで話し合ったらよいと思うテーマは。

※（数字）…意見の数

○学校生活の充実について（１５）

- ・各学校で始めている新たな取組について
- ・生徒が楽しめる学校とはどんな学校か
- ・学校にいたくなるような取組
- ・学校の一番いいところとは
- ・勉学に対して楽しく励むには

○よりよい学校づくり・校則・ルールについて（１３）

- ・学校を更により良くするための工夫
- ・学校の校則について
- ・生徒の困りごとについての改善策

○異学年・他校・地域との交流やつながりについて（１３）

- ・異学年との壁をなくす方法
- ・他校との関わり方について
- ・地域の方と交流を深めるためにすればよい取組→理由は今回のフォーラムでは異学年や先生の交流を深めるためにする取組は出たけど地域の方に関する意見が少なかったから
- ・小学生、中学生とのつながり

○環境やSDGsについて（４）

- ・「SDGs」や「地球温暖化」について自分たちができること
- ・環境に対する取組
- ・各学校での自然に触れ合うための取組は何か話し合ったら良いと思う

○いじめやICTなどについて（６）

- ・友達関係での課題
- ・生成AIの使い方、SNSの利用時間
- ・どうしたらクロームブックを正しく使えるか

⑤まとめ

<成果>

- ・他校がすでに行っている具体的な活動を知ること、自分の学校の改善や委員会活動、生徒会に活かせる具体的なヒントを得ることができた。
- ・普段接することのない他校の児童生徒や小学生と中学生が同じグループで協力して話し合い、スライド作成を進める体験自体が大きな学びとなった。

<課題>

- ・異学年や先生との交流を深める取組は多く出たものの、地域の方に関する意見が少なかった。
- ・新たな取組が考えづらく、各校が取り組んできたことをまとめ、発表するグループが多かった。意見を出しやすい仕組みを整える必要がある。

3 次年度以降のフォーラムの開催について

- ・「町田市教育プラン24-28」のとおり、2027年度も夏に中学校全校及び小学校各地区代表2校で、「小学生・中学生フォーラム」を実施する予定です。